

(1) 男女労働者組合に對する同一賃銀要求の件

右の件は、各労働組合と協力して日當努力しつゝあるところであるが、昭和四年五月より六月にかけて開催せられたる第十二回國際労働會議には、松岡會長は日本労働代表として出席し、「産業災害豫防勸告案」の爲めに努力した。同勸告本に依つて災害保護、防止安全運動に對して、著しく労働組合の協力の強調せられた事は我等の欣快とするところである。

二、昭和四年度のメーデー

本年のメーデーは、各加盟組合に依つて次の地方に於いて舉行された。東京市（東京聯合會）神奈川縣川崎市（神奈川聯合會）埼玉縣川口町（東京鐵工組合川口支部）栃木縣佐野町（關東釀造労働組合佐野支部）群馬縣藤岡町（同上藤岡支部）静岡縣沼津町（紡織労働組合沼津支部）千葉縣市川町（關東釀造労働組合市川支部）

三、役員人事

- (1) 松岡會長は、第十二回國際労働會議の日本代表に推選され、四月十一日神戸解纜ゼネバに向ひ、五月三十一日より三週間會議に出席す。會議終りたる後、伊、獨、佛、英、白、蘭、露の諸國の組合運動を視察して、八月十八日無事任を果して歸朝した。
- (2) 三木執行委員は、労働代表隨員として松岡會長と同行し、同日無事任を果して歸朝した。
- (3) 小泉執行委員は一身上の都合に依り、昭和四年七月二十三日執行委員を辭任した。
- (4) 石塚執行委員は、一身上の都合に依り二月廿四日に辭任した。（其後同君は團結權擁護より端を發し昭和四年二月廿七日麻布郵便局長傷害事件を惹起し市ヶ谷刑務所に收容され、今尙豫審中である）
- (5) 杉崎會計監査は一身上の都合に依り昭和四年五月辭任した。
- (6) 昭和三年十月の總同盟第十七回全國大會に於いて、關東労働同盟會より、左の五名を中央委員たらしめた。
原 虎一 福岡金次郎 土井直作 小岩井相助 齋藤健一

- (7) 同大會に依り松岡會長は總同盟本部主事に選舉された。
- (8) 昭和三年十一月の労働立法促進委員會に於いて、松岡會長は常任委員に推舉された。

四、大阪聯合會左翼除名に關する態度

第四會理事會（昭和四年九月六日）は、滿場一缺左の如く態度を決定した。
大阪聯合會に於ける左翼分子は絶對的に排除すること。内紛問題は可及的穩便に解決すること。
第五回理事會（九月十二日）は滿場一致左の如く決定した。
中央委員會の決定を承認し、大阪聯合會改組準備委員會に對し、「左翼清草の努力を感謝し、一層の奮闘を祈る。我等も亦戦を誓ふ」の激勵電報を發した。

五、理事會及執行委員會

本年度中に於いて、六回の理事會及十九回の執行委員會が開かれた。

理事會議事録

第一回 理事會

昭和三年十一月廿六日午後七時
出席理事 磯 大越 富田 赤松(常子) 渡邊 原 井堀 菊地 武田
大島 堀越 渡邊 池 茂澤 山崎 中西 横溝 小林
伊部 大川
△出席執行委員 松岡會長 福岡會計 三木 徳永 仲濱 小泉 小岩井 石塚 土井 近藤
一、報 告